



2025年2月14日

各位

会社名 株式会社 enish
住所 東京都港区六本木六丁目1番20号
代表者名 代表取締役社長 安徳孝平
(コード番号: 3667)
問い合わせ先 取締役執行役員管理本部長 魚屋和彦
TEL.03 (6447) 4020

前期実績値と当期実績見込みとの差異及び特別損失の発生のお知らせ

当社は、2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）につきまして、前期実績値と当期実績見込みに差異が生じました。また、下記のとおり特別損失の発生がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 前期実績値（2023年1月1日～2023年12月31日）と当期実績見込み（2024年1月1日～2024年12月31日）との差異について

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績値 (A)	3,508	△1,206	△1,265	△1,374	△76.60
当期実績見込み (B)	3,317	△815	△862	△882	△36.09
増減額 (B-A)	△191	+390	+402	+491	—
増減率 (%)	△5.5	—	—	—	—

2. 差異の理由

当事業年度は、新規タイトルとして2024年8月にモバイルゲームクオリティのブロックチェーンゲーム「De:Lithe Last Memories (ディライズ ラストメモリーズ)」をリリースしました。この無数の敵を殲滅しながらダンジョンの奥深くに潜入するログライク RPG は、今後の課題が明確となったため、様々なご意見やフィードバックを反映させるとともに、魅力的なキャンペーン施策を行い、今後の収益寄与につなげています。

売上高につきましては、リリース14年目を迎えた「ぼくのレストラン2」や「ガルショ☆」は、コラボレーション施策等が好調に推移し、引き続き当社の売上収益に大きく貢献しております。しかしながら、既存タイトルの一部において売上高の低減がみられ想定を下回りました。

営業利益及び経常利益並びに当期純利益につきましては、人員の適正化に伴う労務費の減少や外注加工費の圧縮など、収益構造の最適化を目的にコスト圧縮に努めましたが、売上高の減少を補填するまでとはいかず、営業損失及び経常損失並びに当期純損失という結果となりました。

3. 特別損失の発生

当社が保有する有形固定資産及び無形固定資産について、収益性の低下による減損の兆候が認められたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を慎重に検討した結果、減損損失13百万円、及び人員の適正化に伴う特別退職金2百万円を特別損失として計上いたしました。

以上